



糖尿病の治療といえば、食事制限やインスリン注射などさまざまなものがありますが、専門医たちの研究により20年程前と現在とでは大きく変わってきました。

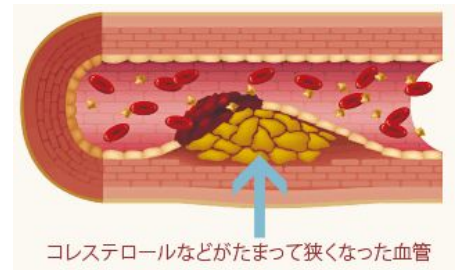
従来は血糖値を下げてくれるインスリンの分泌を促すお薬(SU薬)が主として使われてきましたが、インスリンが十分に分泌されなくなったり、心筋梗塞などの際に心臓への悪影響も指摘されてきたことから、SU薬の使用をできるだけ少なく、かつ短期間にしていこうと専門医たちは治療を変化させてきています。かわりにインスリンの分泌を過剰に増やすのではなく、食後の必要時にのみ働く作用の短い薬や、逆にインスリンの効きをよくする薬などを組み合わせることで、同等の効果が期待できるようになってきています。

これからは、糖尿病はただ血糖を下げればよいという時代は過ぎ去り、命にかかわる合併症(心筋梗塞や脳梗塞など)を予防できるよう治療内容を選択していく質の時代になってきていると考えられます。(院長)



あなたの血管年齢は？！ 同じ年齢の人に比べて、若い？老いている？

見た目の老化は一目瞭然ですが、体の中の血管や骨は、専門的な検査をしないとその老化度を把握することはできません。CAVI検査では『動脈のかたさ』『動脈の詰まり』『血管年齢』を測定しますので、血管の状態がよくわかるおすすめ検査です。



動脈とは、心臓から送り出される血液を全身に運ぶパイプのような血管のこと。ただ単に血液を運ぶだけでなく、状況に応じて心臓に押し戻すなど、ポンプのように効率よく血液を運ぶ作業を行っています。そのため動脈はとてもしなやかで、簡単に破れたり詰まったりしない、強さと弾力性をそなえています。



しかし**動脈がかたくなると血管の内側がせまくなり必要な酸素、栄養がいきわたらず、臓器や組織が正しく機能しなくなります。**さらに血管が詰まると臓器や組織に血液が流れず、壊死してしまうことも。またかたくなることで、**血管はもろくなり破れやすくなる**もなります。

動脈硬化が進行すると、**心臓に大きな負担がかかるため、高血圧、心肥大、心不全などの心疾患につながります。**また、血管が狭くなったり詰まったりすることで、**心筋梗塞、狭心症、脳梗塞、下肢閉塞性動脈硬化症などを引き起こします。**血管が破れると、**くも膜下出血など脳出血の危険も。**たかが動脈硬化とあなどってははいけません。死につながる恐ろしい症状を引き起こす危険を抱えているのです。

検査費用*動脈硬化健診1500円
(病状によって保険適用の場合もありますので診察時にご相談ください)

検査時間は10分程度で、血圧測定と同じ感覚でできる簡単な検査です。検査結果もすぐに出るので、その時に診断が受けられます。

*上記のCAVI検査と血液サラサラ検査(血液のドロドロ具合をチェックする検査)をセットで希望される方は血液サラサラドックもありますので診察時にご相談ください

予約検査日…第2・第4水曜日 午前8:30~11:00

(胃カメラ、腹部エコー、心臓エコー等の予約検査をしています)

予約診療…毎週金曜日 午前8:30~9:00

(通常の診療時間内の受診が困難な方、乳児後期検診や予防注射(インフルエンザ除く)の予約もしていただけます)



インフルエンザ ワクチンの接種は10/22(月)より開始します

***年齢により接種費用・接種期間が違いますので別紙案内をご覧ください**